

マニュアル補足 新型オートスライド(2021 年型)改良点

新型のオートスライドが 2021 年に販売開始されました。

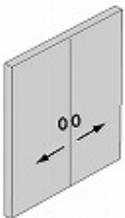
外形寸法、取り付け方法、初期化方法等は従来品とかわりませんが、自動ドアの開閉制御、センサー仕様が従来と異なっております。これにともない、2021 年型オートスライドの追加機能をご紹介します。

1.自動停止装置が追加(安全面)

従来のオートスライド従来のオートスライドは、異物の挟み込、ドアそのもの故障時も、駆動させる仕様となっておりますが、新型では、異常な負荷、動きが三回以上続いた場合、ドアを緊急停止する機能が追加されました。これによってオートスライドおよびドアの故障を未然に防ぐことができます。この停止は電源を再度入れ直すことでクリアされます。

2.両引き仕様に対応

- 両引き戸 (引き分け戸) 2021 年式オートスライド(以下 AS)では 1 台のセンサーで二台の AS をコントロール可能となり、両引き戸にも対応いたしました。旧タイプの赤外線センサー等では対応しておりません。



3.人感センサーに補助モードが追加



従来どおり、近づけば開く、モードに加えて、補助モードが加わりました。保持をモードとは、最初の開閉はタッチスイッチかてがざしスイッチでおこない、ドア通過中にのみ人感センサーが働く仕組みです。

a.設定方法:通常モード(従来搭載機能)

- AS コントロールボックスの右横コネクタ 4 本うち、1 番と 2 番に、人感センサーと接続したコードを挿入
- 補助として本体登録済タッチスイッチをドアにはりつける。(必須ではありません)

b.設定方法:補助モード(従来搭載機能)

狭い店内や病院の診察室など、不要な開閉を減らしたいドアに有効です。タッチスイッチか手かざしセンサーのみで開き、ドア前に人がいる場合のみ、人感センサーが反応し、ドアを停止、安全を確保します。

- メインスイッチ(センサー)として、本体登録済みタッチスイッチか、手かざしセンサーを使用。手かざしセンサーは AS コントロールボックスの右横コネクタ 4 本うち 1 番と 2 番に、専用コードで挿入します。
- 人感センサーを AS コントロールボックス 3 番と 4 番に挿入します。
-

4.速度コントローラーの仕様変更

2021 年型オートスライド(以下 AS)では Opentime(速度コントローラー)仕様に変更となりました。



従来は 5 秒だった開閉時間が、最長 24 秒、最大で停止(ラッチ)モードが追加されました。

停止(ラッチ)モードでは、以下のような動きとなります。

- タッチスイッチを押す→前開で停止→2)タッチスイッチを押す→閉まる。

つまり、自動で開きますが、閉まるためにもういちどスイッチを押す必要があります。また、このモードでは人感センサーではうまく動作いたしません。使用用途としては、車椅子ユーザーさまのドア通過、病室などを想定しております。

注意点

1.両引き仕様時の旧製品との混合仕様不可

従来の AS とは速度制御プログラムが変更となりました。両引き(中央から二枚に引き分けるドア)の場合、旧版のオートスライドとの併用すると、開閉速度にバラツキがでますため、必ず新型 AS を二台ご使用ください。

2.AC/DC アダプターの変更

今回、安全面から AC/DC アダプターの変更が入りました。旧製品付属のアダプターでは現在の AS の動作保証ができておりません。旧製品をお持ちの方は、ご了承いただき、誤ってご使用いただかないようにお気をつけください。

3.一部旧製品のセンサーとの連携不可

2013 年から発売した一部のセンサーについては互換性がございません。とくに現在の製品ラインナップから外れている旧センサーは使用できないとお考えください。